

# (社)北海道臨床工学技士会ニュース

NO. 65

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>事務局 [takao.murohashi@nifty.ne.jp](mailto:takao.murohashi@nifty.ne.jp)

発行人：真下 泰

〒004-8618

札幌市厚別区厚別中央2条6丁目

札幌社会保険総合病院 ME部

TEL 011-893-3000

FAX 011-893-4001

## 第16回(社)北海道臨床工学技士会学術大会のご案内 ~第2報~

学術大会長 真下 泰 (札幌社会保険総合病院)

学術大会事務局 高橋 秀一 (NTT札幌病院)

会 期 2005年10月2日(日)

会 場 札幌コンベンションセンター

<http://www.sora-scc.jp>

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

TEL. 011-817-1010 FAX. 011-820-4300

参加費 会員 ¥1,000 賛助会員 ¥2,000 非会員 ¥3,000  
学生 ¥500演題登録方法 (社)北海道臨床工学技士会ホームページからの、オンライン登録のみとなっております。郵送、メールでの演題受付は行っていませんので注意して下さい。**(社)北海道臨床工学技士会ホームページ**《 <http://hcea.umin.ac.jp> 》

演題登録期間 2005年8月1日(月) ~ 2005年8月31日(水)

(練習登録は7月31日をもって終了しました。ただいま本登録受付中です!オンライン登録ですので締切期限は厳守して下さい。)

一般演題発表・討論時間

発表時間8分、討論時間2分、1演題10分の割り当て予定です

## 札幌心血管治療研究会主催 札幌ライブデモンストレーションのお知らせ ～ 第二報 ～

下記日程で心血管インターベンションのライブが開催されます。当日は医師の治療等のライブセッションとは別会場で、コメディカル分野のライブを中心としたディスカッション、講演などを企画しております。参加に際し事前申し込み等は必要ありません。当日の申し込みで結構です。皆様多数の参加、お待ちしております。

詳細は、札幌心・血管治療研究会のホームページ (<http://www.sldc.jp/>) を参照して下さい。

**会議名** 札幌ライブ デモンストレーション  
**主催** 札幌心・血管治療研究会  
**日時** 2005年9月1日(木)～3日(土)  
コメディカルライブセッションは、  
9月2日(金)午後より開始  
**会場** 札幌コンベンションセンター  
〒003-0006  
札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

**参加費** 医師 ¥10,000 コメディカル ¥3,000

### 中継会場

北光記念病院 北海道社会保険病院  
札幌東徳洲会病院 市立札幌病院

### 後援

日本心血管インターベンション学会  
北海道医師会 札幌市医師会  
北海道放射線技師会  
北海道臨床工学技士会

### 問合せ先

市立札幌病院 臨床工学科  
コメディカル代表世話人 高平篤法  
011-726-2211 内線(2289)

## 第44回日本生体医工学会(旧エム・イー学会) 北海道支部大会

下記の通り、日本生体医工学会の北海道支部大会が開催されます。皆様多数ご参加下さいますよう宜しくお願いします。

**会期** 2005年10月1日(土)午後1:00～  
**会場** 北海道大学電子科学研究所講堂  
札幌市北区北12条西6丁目

## 第14回日本集中治療医学会北海道地方会

下記の通り日本集中治療医学会の北海道地方会が開催されます。臨床工学技士の一般演題も予定されていますので、こちらも多くご参加下さいますよう宜しくお願いします。

**会期** 2005年10月1日(土)  
**会場** ホテル ロイトン札幌  
札幌市中央区北1条西11-1

## アフェシス技術講習会 & 市民公開講座のお知らせ

下記日程でアフェシス技術講習会及び市民公開講座が開催されます。アフェシス講習会はアフェシス技術認定士試験を受験する際に必要となります。講習会参加者には受講証明書を発行致します。

**開催日** 平成17年10月30日(日)  
午前9:00～

**場所** 札幌コンベンションセンター  
104+105会議室

## RM ニュース

### < 除細動器をリコール

#### 米企業、死亡例報告で>

AP通信などによると、米医療機器大手ガイダントは、心臓の鼓動を調整する埋め込み型の「除細動器」で、機能障害により2件の死亡例が報告されたとして、リコール対象とすることを明らかにした。世界中で約5万人が使用しているという。

この除細動器は致死性不整脈の患者用で、不整脈を感知した際にショックを与えて心臓の鼓動を正常に戻す器具。リコール対象となったのは「ベンタックプリズム2DR」などで、日本法人「日本ガイダント」のウェブサイトでも紹介されている。

米食品医薬品局(FDA)の声明によると、器具が突然ショートして、正常に作動しない可能性がある。FDAは、リコールに相当するとしながらも、器具が体内に埋め込まれているため実際の交換は推薦できないと指摘。会社側は頻繁な点検を患者に呼び掛けている。

同通信によると、死亡例を含み、少なくとも45回の誤作動例が報告された。リコール対象となった器具のうち3万8000個は米国で使用されている。(6月20日:共同通信社)

### < 事故の半数、自分で針抜く

#### 人工透析で研究班調査>

人工透析に伴う事故で最も多いのは、血管に刺した針が抜ける抜針(ばっしん)で、その半数は認知症(痴呆症)や意識障害のため自分で抜くケースであることが、厚生労働省研究班(分担研究者・秋沢忠男(あきざわ・ただお)和歌山県立医大教授)の調査で分かった。

研究班の篠田俊雄(しのだ・としお)・社会保険中央総合病院内科部長は「自分で針を抜くのを完全に防ぐのは難しい。看護師の巡回に濃淡を付けるとか、家族に付き添ってもらうなど、各施設で工夫するしか方法がない」と話している。

動脈と静脈を手術でつないだシャントという部分や、血液を取り出す管(カテーテル)に関連して2003年に起きた事故を、約3400施設にアンケート、約1600施設が回答した。

死亡5例を含む493件のうち、シャントなどからの抜針は338件(死亡例なし)。内訳は、患者が自分で抜いたのが165件で、自然に抜けたのは138件、いずれか不明が35件だった。

抜針の原因でも、433件の複数回答のうち、認知症と、高齢や発熱などで意識がもうろうとなる「不穏」が約100件ずつあった。認知症患者のほとんどと、不穏の半分程度が、自分で抜いていた。

透析患者の多くは、血液を送り出しやすくするため動脈を静脈につなげるシャント手術を受けており、針が抜けると血液が大量に流出し死亡する危険もあるという。

死亡5例はカテーテル関連で、3例は自分で抜くか切断していた。

(6月22日:共同通信社)

## 会費納入についてのお願い

今年度の会費を受け付けております。前年度未納の方は、大至急納入していただくようお願いいたします。また、今年度分の会費も早急に納入していただくようご協力お願いいたします。

振り込みの際には、用紙の通信欄に“何年度分の年会費”と記載をお願いいたします。

|           |         |
|-----------|---------|
| 正会員       | 5,000円  |
| 賛助会員/賛助団体 | 10,000円 |

口座番号 郵便局 02760-8-4815  
加入者名 北海道臨床工学技士会

問い合わせ先

(社)北海道臨床工学技士会 財務担当理事

〒064-0809 札幌市中央区南9条西10丁目  
医療法人札幌中央病院 臨床工学科 山本浩幸

TEL 011-513-0111

# 頑張れ！フレッシュズ

## 二年目 CE の【日々迷走】～(6)

2年目A

新人CEとして働き出してからやっと1年あまり経ち、そろそろ「新人だから」という言い訳もできなくなってきた。とは言え、相変わらず一人の職場で右往左往する毎日だ。

これまでの高気圧業務、人工呼吸器やポンプの点検業務に加えて、モニタや除細動器など院内機器を色々見るようになったが、今のところ作動点検が主なので専門的な知識はあまり増えていなかったりする。ちょっとずつ顔が売れてきたので、病棟や事務方から「とりあえず見てくれる？」と色々な機械類を託される。パルスオキシメータのクリップのバネが壊れたとか、ワイヤレスマイクに雑音が入るとか、携帯の初期画面が消えてしまったとか(携帯は結局直せなかった...)。それってCEの仕事じゃないでしょと言われそうだが、今のところは人間関係を優先したいので絶対無理なもの以外はとりあえず引き受けることにしている。

今年 CE になったばかりという人は、そろそろ日常業務に慣れてきた頃かもしれない。先輩や上司がいればフォローしてもらえとはいえ、ミスをして落ち込んだりはしていないだろうか。例えばこんな感じ。

・呼吸器のセルフテストがどうしても通らず、故障だと思いメーカーさんと呼ぶ

加湿チャンバに亀裂が入っていただけ(単なるリークだった)

・セントラルモニタ本体の点検でどうしても送受信がうまくいかない、送信器2個で試したがダメ  
試した送信器のほうが2個とも故障していた

・心電図モニタの点検でどうしても波形が表示されない

電極をつける位置が間違っていただけ

私が1年目の時にやらかした凡ミスである(本当はもっともっとあるが情けないので全部は書けない)。理由がわかればなーんだ、で済むけれど「どうしても～できない」という時点では大汗をかきながらあれこれ考え試しているのだ。後から考えるとなんでそのときわからなかったんだろうと思うけれど、何しろ一人しかいないので文殊の知恵も発揮できない。その分、各メーカーさんには様々な面でお世話になっていて頭が上がらない状態だ。それでも最近はずいぶん凡ミスの率が減ってきた(ような気がする)ので、1年目で落ち込んでいる方も「こんな奴でも一応は働けてるんだから、俺のほうがマシだな」と自信を持っていただけたら幸いである。言い訳がましいが一度ミスすれば同じことを繰り返さないように気をつけられるので、ミスも経験として自分の実になっていくと思う(抜いた後のネジを床に落っことして探しまわる...のはいまだに繰り返しているけど)。

北海道臨床工学技士会ニュース

|      |            |       |      |
|------|------------|-------|------|
| 広報担当 | 仁友会 北彩都病院  | 臨床工学科 | 石川幸広 |
| 編集委員 | 旭川医科大学附属病院 | 臨床工学室 | 宗万孝次 |
|      | 旭川赤十字病院    | 臨床工学課 | 奥山幸典 |
|      | 市立旭川病院     | 臨床工学室 | 窪田将司 |

印刷

岡本印刷株式会社  
札幌市北区新川西2条1丁目  
3番21号  
011-766-2551